

- ☆年次総会開催される!
- ☆14年度活動方針決定
- ☆地方・ブロックの動き

第88号 2002年4月1日
(平成7年3月17日第三種郵便物認可)

編集発行人 田中 慶秋
〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目20番9号
第5須賀ビル6階
TEL (03) 3501-5111 毎月1回1日発行
E-MAIL minsha@mx1.ttcn.ne.jp
購読料 年間 2,000円
(会員の購読料は会費の中に含む)

中野寛成議員、理事長に就任!

民社協会は平成14年度年次総会を3月10日、東京の友愛会館にて開催した。各地方協会代表、労組関係者、協会役員など約100名が出席し、新年度方針を決定した。

冒頭、田中慶秋専務理事の開会挨拶に続き、物故者の過去の功績を称え、出席者全員で黙祷を捧げた。

続いて議長選出を行い、斉田宗一氏(東京都)、塩山登氏(大阪府)の両氏を満場一致で決定した。

議長就任挨拶の後、米澤隆会長が挨拶に立ち、民社協会の存続問題を含め、これまでの経緯を説明し、議案書の中身に一部触れながら、「政局が混迷を深める中、国会、



挨拶する米澤隆会長

地方議会ともに連携を図りつつ、民社精神を堅持し、各議会にて民社精神を大いに発揮し、議会を引っ張っていただきたい」との主旨を述べた。

来賓挨拶として、堀江湛政研フォーラム理事長が挨拶に立ち、民社党時代を振り返りながら、「各党連立するなか、民主社会主義者として今後のあり方、活動方針、政界再々編に向けて、民社理念をしっかりと持って良い日本を造っていただきたい。国政・地方議会ともに勢力拡大を図っていただきたい」との祝辞を述べた。

続いて、高木剛友愛連絡会会長が挨拶を行い、外務省問題、狂牛病問題等を取り上げ、「国民は怒りを超え、諦めの状態だ」とし、デフレ・金融問題に触れ、「国会はサプライサイドの話ばかりで、もっと国民の立場に立った話をしてほしい」との要望を挙げ、最後に「民社協会から坂本竜馬や高杉晋作のような、将来の日本を託す人が出てきてもらいたい。今後も力を合わせて、次期衆議院選挙に向けて頑張りたい」と厳しいながらも当協会を支持していく意向を述べた。

祝辞終了後、玉置一弥副理事長が国政報告を行った。「今国会状況は、戦後政治のあり方が全て暴露されている」とし、田中・鈴木問題、農水省問題、外務省問題、国会の委員会制度のあり方などの問題点を具体的な例を取り上げ、報告を行った。また、景気問題や有事問題についても言及し、「本来、今国会では、不良債権処理問題、雇用問題、経済対策、有事法制の整備を早急に取り組まなければならない課題だ」とし、後半国会への意気込みを語った。その他『政研フォーラム21』の設立趣意と発足経緯、並びに現

状報告を行い、今後の活動について説明を行った。

続いて活動報告を田中専務理事が行い、参議院議員・都議会議員の両選挙の総括を述べ、『第2次あり方懇談会』『財務委員会』の報告を行った。また、全国の組織状況、友好団体との連携、定期刊行物の刊行、地方議員研修会について報告を行った。地方組織、友好団体との連携については、ブロック会議の重要性を示唆し、今後更にブロック会議の強化を図り、国会・地方議会・友好団体との連携を深めていくことを提案し、報告を締めくくった。

次に林幸雄事務局長の平成13年度会計報告に伴い、増田光儀会計監査が監査報告を行い、了承された。

会計監査報告終了後、田中慶秋専務理事より、今年度の活動方針が提案され、続いて、林幸雄事務局長が今年度予算を提案し、質疑応答後、両案ともに原案通り可決承認された。

採決終了後、緊急提案があり、田中慶秋専務理事より総会前の常任役員会において、中田一郎専務理事より理事長職辞任の申し入れがあり、協議の結果、新役員体制として中野寛成特別顧問が理事長、玉置一弥副理事長が理事長代行、中田一郎理事長には、引き続き、当協会を身近な立場から指導・支援して戴きたいとの、各役員からの要請を受け、常任顧問として、今後も現場で活動していただくとの提案がなされ、満場一致で採択された。

役員代表挨拶として、中野寛成新理事長が「新しい民主主義の確立が急務であり、変えるべきは内政問題である。『第三の道』こそ民主社会主義であり、消費者サイドから景気を回復しなければならない」とし、「時代の流れは『民社友愛』である。民社魂を各地域、各方面においても十分発揮し、活躍してほしい」と述べた。



抱負を述べる中野新理事長

最後に田中慶秋専務理事が閉会の挨拶を述べ、総会は無事終了した。

総会終了後、友愛会館1階に場所を移して引き続き懇親会が開催された。

懇親会では、中田一郎常任顧問が挨拶に立ち、「今後も、民社精神の原点を忘れずに、更に民社協会に寄与していきたい」と抱負を語った。

会には、関係団体の役員なども参加し、それぞれマイクを握り近況を報告し、和やかに進化した。

最後は今泉昭参議院議員が「今からが、民社協会の正念場であり、協会員の力を結集し日本を変えていこう」と檄を飛ばし、ガンパロー三唱で今年度の健闘を全員で誓い合い終了した。